

研究活動報告

経済協力開発機構地域開発政策委員会専門家会合

経済協力開発機構 (OECD) 地域開発政策委員会の専門家会合が、4月9日から10日にかけて同機構の本部のあるフランス・パリで開催された。この委員会は、都市と農村の地域開発に関する重要問題について意見交換、政策分析を行う委員会である。その活動の一環として、OECD加盟国の国内の地域格差指標の作成も行っている。今回の専門家会合では、国内の地域区分 (わが国の都道府県レベルの地域を、都市的地域とその他の地域に分類) について、人口のメッシュ統計を活用したより精緻化した方法の提案、中心地である都市と周辺地域との関係に着目した、地域の細かい分類などが提案された。また、国内の地域別にみた Well-Being の格差、地域別の人口などのデータ整備の例の報告なども行われた。わが国からは国土交通省国土政策局総務課企画室の近藤共子室長が代表者として出席し質議を行ったが、当研究所からは OECD 統計局および厚生労働省からの要請により、金子能宏政策研究連携担当参与、小島克久国際関係部第2室長が参加し、わが国の現状と課題について報告した。(金子能宏 記)

日本老年社会科学会第56回大会

日本老年社会科学会第56回大会が、6月7日から8日にかけて下呂交流会館アクティブ (岐阜県下呂市) で開催された (主催校は中部学院大学)。大会のテーマは、「続・生老病死の科学と教育—いかに生きるか、いかに生ききるか—」であった。期間中は、特別講演、シンポジウム、大会企画フォーラム、自主企画フォーラム、一般報告等で活発な議論が行われた。今回の大会では、一般報告はポスター発表のみで行われた (117演題)。当研究所からは、小島克久国際関係部第2室長、泉田信行社会保障応用分析研究部第1室長、白瀬由美香社会保障応用分析研究部第3室長が以下の演題でポスター発表を行った。

小島克久「高齢者の健康状態の地域差に関するマルチレベル分析—「第7回人口移動調査」(2011年)を用いた分析—」

泉田信行・白瀬由美香・大塚理加・大津唯「高齢者ふれあいサロンへの参加・非参加が低BMIに与える影響—ふれあいサロン参加者と一般市民に対する質問紙調査に基づく分析—」

白瀬由美香・大塚理加・大津唯・泉田信行「高齢者ふれあいサロンの会食の場としての機能に関する検討—サロン参加者へのインタビュー調査に基づく質的分析—」

(小島克久 記)

日本人口学会第66回大会

日本人口学会第66回大会は、2014年6月13日 (金) ~ 6月15日 (日) に明治大学で開催された。ただし6月13日 (金) は大会前日の特別セッションとして「第4回地方行政のためのGISチュートリ